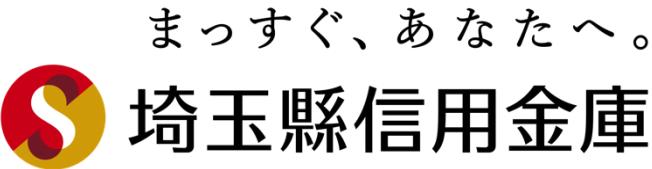


confidential



# 行田市官民連携勉強会

官民連携によるまちづくり事例  
～行政と地域プレイヤーの連携～

2025年10月30日  
地域創生部

# 事例① 本庄市

---

## 本庄市の課題

群馬県との県境に位置する本庄市はかつて中山道最大の宿場町としてにぎわっており、今もその古くからの街並みが残っています。

しかしながら、その本庄市にある本庄駅北口、「銀座通り」は駅近隣でありますながら人口減少・少子高齢化が進んでしまっております。

この課題を行政と民間が  
タッグを組んで解決に取り組んでいます。

# 事例① 本庄市

## 行政の取組（一般社団法人ochanoma）



本庄市からの行政としての支援はもちろんのこと、同じ目的を持つた民間プレイヤーたちと併走してまちづくりをしたいと本庄市の職員数名で「一般社団法人ochanoma」を立ち上げ地域の空き家の管理や活用を進めている。

# 事例① 本庄市

---

地域の特色あるプレイヤー  
(本庄デパートメント)



画像出典:合同会社本庄デパートメントHPより

# 事例① 本庄市

## 《事業内容》



2021年11月、築100年超の元料亭を改装した拠点WORK+PARLOR(カフェ+コワーキングスペース)をオープン。

空き地や空き家を複数利用した日常の延長にあるマーケットの運営、私設公園“本庄銀座GOOD PARK”的運営、移住者として移住相談にも乗りつつ、学生プロジェクト・創業支援や動画制作・グラフィックデザイン・建築設計・企画ディレクションなどを行う。

画像出典:合同会社本庄デパートメントHPより

# 事例① 本庄市

## 取組紹介① 本庄銀座GOOD PARK

銀座通り内にある空き地を協力企業とともに借り上げ私設公園に。

地域の方が交流し、これから創業を志す方がチャレンジ出店できるマーケットなどのイベントを定期的に開催。

画像出典：合同会社本庄デパートメントHPより



# 事例① 本庄市

---

## 取組紹介② 高校生インターンシップ事業

アルバイトだけでは経験できない、学生の社会経験や経営への意識向上を目的に行政と連携し、高校生や大学生をインターンシップで受け入れし地域の教育の場としても活動を行っている。



画像出典：合同会社本庄デパートメントHPより

# 事例① 本庄市

## 取組紹介③

### ミニスーパーと子どもたちが集まる複合拠点



画像出典:READYFOR HPより

支援総額  
1,646,300円 目標金額 1,000,000円

支援者 129人 募集終了日 2025年1月9日

終了報告を見る ♡ 11

<https://readyfor.jp/projects/...> コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます

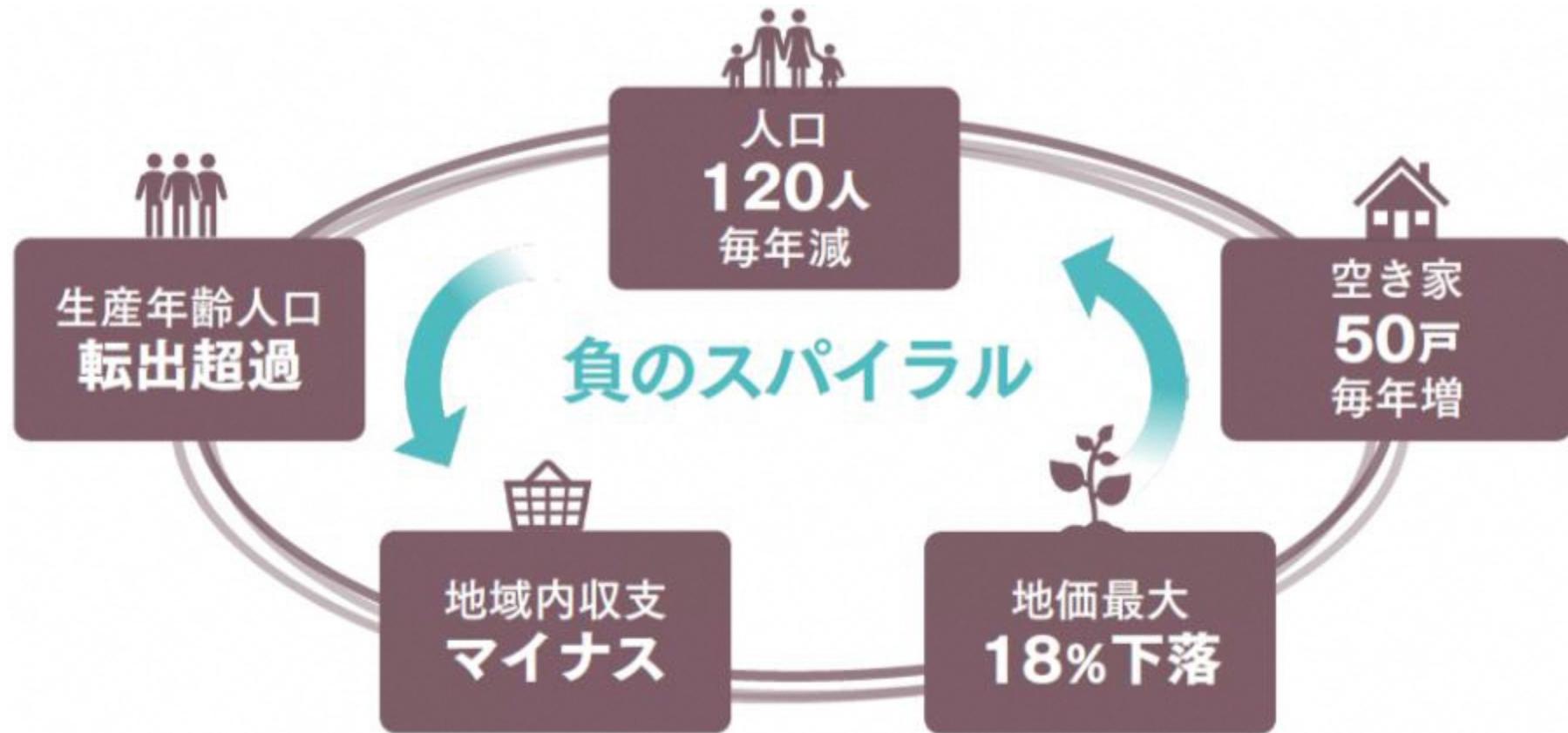
Facebook X LINE note

商店街内の従前化粧品店であった3階建ての空き店舗。この建物をリノベーションし、活用。この建物は商店街の中心に位置しており、「ここに灯かりが戻れば、きっと商店街に活気が戻る」との思いでプロジェクトを開始。

建物内を区分けし貸出。様々な事業を行う方が集まってお店を開く複合施設に生まれ変わりました。

## 事例② 杉戸町

### 町の課題



画像出典: 杉戸町HP

## 事例② 杉戸町

### 町の取組み

#### リノベーションスクールの開催



画像出典:杉戸町HP

#### リノベーションスクールとは

まちづくりに興味を持つ受講生を募集し、実在する遊休不動産を対象に不動産を活用した新しいビジネスを不動産オーナーに提案し最終的には実事業化を目指す3日間の実践型ワークショップ。

## 事例② 杉戸町

この事業から様々な事業が誕生



画像出典:八百宿HP

### 八百宿

旧金物店であった築100年超の古民家を改裝し、シェアスペースとして活用したプロジェクト。



画像出典:杉戸町HP

## 事例② 杉戸町

---

### 地域の特色あるプレイヤー (choinaca合同会社)



代表の矢口氏

杉戸町出身でデザイナーの矢口氏、かつて自転車置き場として利用されていた遊休公共施設を活用し、大人の学校をテーマとしたシェアスペース「仕事創造ファクトリー ひとつ屋根の下」を運営。ここではメンバーたちが、ワークショップやイベントを開催し、新たな仕事を創り出す挑戦の場を提供している。

## 事例② 杉戸町

### ひとつ屋根の下 リニューアルオープン!!!



### しごと創造ファクトリー ひとつ屋根の下

ひとつ屋根の下は、元は町営の駐輪場でした。昔からの商店街が姿を消していく中で、東武動物公園駅東口通り周辺に新たなにぎわいと交流の拠点を提案しようと、民間主体で改修しスタート。

2024年4月にリニューアルし、「100人商店街」をコンセプトに、誰でも商いにチャレンジできる100の貸し棚・ポップアップストア・キッチン・学びの場が複合的に同居するコミュニティ拠点。100人100通りの商いを通して人がつながり、エネルギーが循環する新しい商店街。

# 事例② 杉戸町



## 1棚オーナー制度

「100棚商店」の貸し棚で小さな自分のお店を持つことができます。モノの販売・展示はもちろん、活動やお店のPR・体験サービスの販売などさまざまな実験が可能です。



## ひと坪レンタル

独立した空間でお店を開きたい人には「ひと坪商店」を。個展やグループ展、ワークショップやオーダーメイドの受付けなど、用途にあわせて1日からの利用が可能です。

ご清聴ありがとうございました